今日の繁栄のかげに　斃れた人々

しめやかに光町戦没者の合同慰霊祭執行さる。

遠く日清日露の戦役に、また近くは大東亜戦争に、民族の繁栄と世界の平和も念じつつ、護国の柱となられた光町戦没者四百八柱の合同慰霊祭は、十二月八日光町並に光町社会福祉協議会の共催のもとに、光中体育館で仏式により行なわれました。

御遺族の方、並に県下来賓と併せ、三百余名参列のもとに午前十時二十分より厳粛のうちに開式せられ、同十一時三十分盛大裡に閉式いたしました。

近代化すべき農協の方向について

匝瑳郡組合長会長　土屋　克

輝かしい昭和四十年の新春を迎えるに当り、農協の方向について若干所感をのべ組合員各位の御理解あるご協力を賜り度く存じます。

この重大な責任を負うべき農協自身も体質改善を行うことが農家の体質改善と共に歩むべき農協の使命であろうと思うわけです。若少資本の中小企業が続々と倒産しているが、農産物の上昇率は非常に低い。

普通の年でも、所得格差が年々離れて行くのに今の農業はどうであろうか。

稲作の場合を見ても、何年来の豊作が、すっかり的外れて減収となり、畑作の八割を占める甘藷作は今更いうまでもない。

掛角苦心して買った高精能の耕耘機が、土地整備が悪いため半分の能力しか出せなかったり、収穫ばかり考えて収穫物を換金して見てがっかりしていては、農家は一生浮かばれない事である。

国で奨める構造改善補助事業を待つ迄もなく、今こそ新しい農業を研究し推進しなければならない。

光町の農業構造改善補助事業も、今回は東陽地区の西高野部落のみで只今その計画について農林省の審査段階である。

西高野部落の構造改善事業計画の概略を述べると、

西高野部落の土地は、現況田、六四、八町、畑一一、三町、畑一一、七町、九〇、五町、畑一一、三町、畑一一、七町、九〇、五町、畑一一、三町、畑一一、七町、九〇、五